

SOLIDWORKS®のR&D (研究開発部門) について 知るべき

10の事実

機械CAD市場は競争が非常に激しく、成功するためには継続的なイノベーションが不可欠です。SOLIDWORKS®は、使いやすいインターフェイス、シームレスに統合されたツール、他のソフトウェア アドインとのシンプルな互換性、3DEXPERIENCE®プラットフォームとの完全な統合性により、イノベーションを容易に実現できるようにします。

こうしたことはいずれも、SOLIDWORKSの研究開発チームなしに実現できなかったことです。

01 お客様の要望に対応

SOLIDWORKSの研究開発チームは、90年代に創設されて以来、ユーザーの声に積極的に耳を傾けてきました。お客様の声に耳を傾けるこうしたSOLIDWORKSの姿勢は、決して廃れていません。依然として90%のソフトウェアの機能強化が、ユーザーの要望によって実現しています。なぜでしょうか？研究開発チームはユーザーのニーズや重視することに焦点を当てているためです。

02 実体験

SOLIDWORKSの研究開発チームのメンバーの多くはこの業界出身で、これまでのポジションでCADを使用し、現在は他のユーザーのためにCADを構築している設計者やエンジニアです。自分が以前就いていた職務に現在就いている人々をサポートし、お客様が困っている点について知り、解決策を生み出して、修正することが、メンバーのDNAに刻み込まれています。



“SOLIDWORKSは、肯定的であれ否定的であれ、ユーザーからのフィードバックを歓迎します。SOLIDWORKSは、開発を進めながら、ユーザーの声に耳を傾け、アップデートしています。”

-Brad Meador氏 (Altec社、プロジェクト設計者)

90% 
のソフトウェアの機能強化が
ユーザーの要望によって実現

「SOLIDWORKSで最も気に入っているのは、プログラムそのものではありません。その背後にいる人達です」

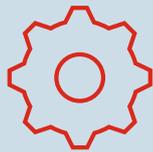
-Kara Tucker氏 (Gibson Brands社、製品開発CAD設計者)

03 ユーザーを支持

SOLIDWORKSの研究開発チームのメンバーは、あらゆる面でユーザーの優れた支持者になれるようにトレーニングされています。チームメンバーは、フォーラムやソーシャルメディアを閲覧する、ユーザーからフィードバックや機能強化の要望を収集する、そしてもちろん客先を訪問するなど、さまざまな方法でお客様の声に耳を傾けています。毎年、SOLIDWORKSの研究開発チームメンバーは、お客様と直接会って、コミュニケーションを図るように求められます。メンバーは、SOLIDWORKSユーザーの工場、オフィス、メーカースペースや、3DEXPERIENCE Worldのミーティングイベントに出向きます。いずれも、お客様がこのソフトウェアをどのように使用しているか、そしてこのソフトウェアをどのように改善できるのかを知るためです。

「ユーザーが本当に必要としていることを知るコツがあります。さまざまなテクニックを用いる必要があります。製品定義部門の全員にそうしたコーチングを行っています」

-Bruce Holway (SOLIDWORKS、製品定義ディレクター)



CADのアクセシビリティの確保において、SOLIDWORKSよりも経験豊富な企業はありません。

04 複雑なことを簡単に

SOLIDWORKSの研究開発部門の特徴の1つに、CADのアクセシビリティを確保するということが挙げられます。SOLIDWORKSが90年代に市場に参入するまで、ソフトウェアの操作性に取り組むチームなど、耳にしたことがほとんどありませんでした。SOLIDWORKSは、こうしたチームが果たす役割の重要性を認識し、20年前に初の操作性チームを結成させました。今もSOLIDWORKS製品は、使いやすさとアクセシビリティにおいて傑出した製品であり続けています。SOLIDWORKS製品が成長し、進化していく中で、設計者やエンジニアが簡単にオプションを操作し、詳細な設計を迅速に作成できることが、最優先事項になっています。そして今後も常に最優先事項であり続けるでしょう。

「当社は常にCADを楽しいものにしようとしています。ユーザーはCADを1日中使用しています。それを楽しいものにすることが当社の仕事です。」

- Rob Jost (SOLIDWORKS、製品定義シニアマネージャー)

05 新しいテクノロジーを統合

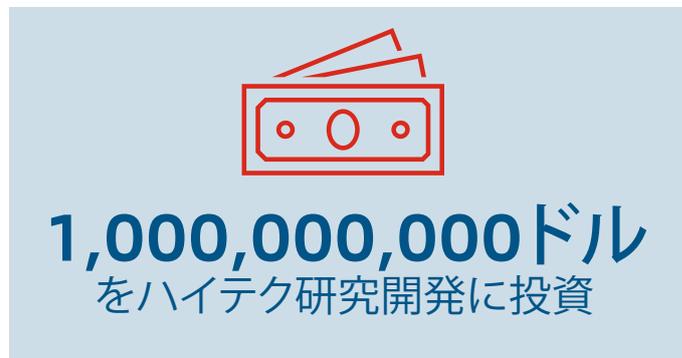
SOLIDWORKSの研究開発部門は、トレンドや流行を追従するだけでなく、いずれも生産的な機能強化を実現しています。設計やエンジニアリングに機械学習 (ML) と人工知能 (AI) を適用するのは、ロボット掃除機をプログラミングして、操作性を維持しながら、面倒な作業を自動化することに例えられます。SOLIDWORKSの研究開発部門は、SOLIDWORKS設計ソリューションに新しいテクノロジーを取り入れて日常業務を楽しみ、より大局的な仕事に取り組む時間を確保できるようにします。

「私たちはCADユーザーが常にやっている退屈な反復作業に目を向けて、こうしたことを認識するテクノロジーを開発できないだろうかと考えています。しかし、最適なソリューションとしてどれを選択するかはユーザー次第です」

-Rob Jost (SOLIDWORKS、製品定義シニアマネージャー)

06 研究開発への投資

SOLIDWORKS Designは、新しいテクノロジーだけでなく、毎年、多くの新機能を導入しており、その勢いが衰える兆しはありません。本当に**SOLIDWORKS**は将来に投資しているのでしょうか？**SOLIDWORKS**の研究開発部門は、ダッソー・システムズから10億ドル以上の研究開発投資を受けています。**SOLIDWORKS Design**への投資を、短期的な改善と長期的な技術革新という形で確実に回収できると安心していただけます。



「こうしたテストや製品の精度向上にはコツがあります。**SOLIDWORKS**の研究開発チームがこうしたプロセスを効果的に進められるようにトレーニングしています。」

-Bruce Holway (SOLIDWORKS、製品定義ディレクター)

07 カスタマイズ

カスタマイズは、**SOLIDWORKS Design**ユーザーにとっても、研究開発部門にとっても重要です。このソフトウェアは、強力なAPIと幅広いプラグインや拡張機能を備えており、ユーザー インターフェイスを個人の好みやプロジェクトの具体的な要件に応じてカスタマイズできます。**SOLIDWORKS**の研究開発部門は、CADについて初めて学ぶ学生であれ、何か新しいソリューションを構築するスタートアップ企業であれ、複雑な設計に取り組むパワー ユーザーであれ、お客様のあらゆるニーズに対応する強力なUIを備えたソフトウェアを設計してきました。

「**SOLIDWORKS**は、あらゆるユーザーに対応するインターフェイスの提供に常に取り組んでいます。そのまま使用できるほど強力なインターフェイスですが、操作性をカスタマイズしたいユーザーにも対応できるだけの柔軟性も備えています」

-John Sweeney (SOLIDWORKS、製品開発部門、シニア ディレクター)

08 相互運用性

多くのエンジニアや設計者は、さまざまなソフトウェア パッケージを使用して、業務のさまざまな側面に対応しています。**SOLIDWORKS**の研究開発部門は、ダッソー・システムズの製品にもサードパーティ製ソフトウェアにもシームレスに統合し、最適な適応性を確保できるように取り組んでいます。チーム メンバーが各地に分散し、特にすべてのチーム メンバーが**SOLIDWORKS**ソフトウェアを使用している訳ではない場合に、こうしたことが極めて重要になります。**SOLIDWORKS**の研究開発チームは、ダッソー・システムズの他の研究開発チームと密接に連携し、**3DEXPERIENCE**プラットフォームにも通じているため、クラウドベースの製品開発ツールとの緊密な連携機能を提供する意義を認識しています。このようにして、相互にスムーズに接続され、ビジネスのあらゆる側面に対応する環境をユーザーに提供しています。

「**SOLIDWORKS**が他の会社と違うところは、ユーザーの声に耳を傾け、ユーザーが何を求めているのかを知り、実際にそうした変更を実現できるように努めているところです」

-Sanket Patil氏 (Bowhead Corporation社、チーム リーダー)

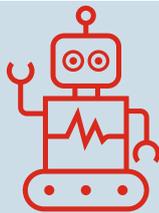
09 大きなチームの一員

SOLIDWORKSの研究開発チームは、ダッソー・システムズファミリーの一員です。研究開発チームは、お客様が愛用する設計ツールの研究に取り組み、世界中の7,000人以上のエンジニア、設計者、アナリスト、開発者、プログラマーなどと連携して、製品開発ソリューションを向上させています。グローバルな研究開発グループによる裏付け、サポート、専門知識によって、SOLIDWORKSは将来にわたって価値のあるテクノロジーを開発するために必要となる、あらゆる専門知識とサポートを確保しています。

「有史以来、数千年にわたり、エンジニアリングはすべてペンと紙で行われてきました。そして私たちの時代にCADが爆発的に普及しました。今、この分野にいる私たちはワクワクするような時代を生きています」

-Bruce Holway (SOLIDWORKS、製品定義ディレクター)

10 クラウドを活用



研究開発部門は、AIとMLをすべてのユーザーにとって実用的なものにすることに注力しています。

SOLIDWORKSの研究開発部門は、創設以来ずっと業界と市場のトレンドを見つめてきました。30年以上にわたって多くの急速な進歩を目にしてきましたが、クラウド以上に目覚ましい進歩はありませんでした。研究開発部門は、ダッソー・システムズによるクラウドへの多額の投資を活かして、CAD対応のクラウドストレージによってSOLIDWORKS Designをさらに強化するブラウザベースの設計ツールの開発をサポートし、さまざまな部門や企業間のコラボレーションプロセスの分断を解消してきました。SOLIDWORKSの研究開発部門は、人工知能や機械学習などの高度なテクノロジーに対する今後のニーズや、それを大衆に提供する手法について予測しています。これもすべて、お客様のようなユーザーの成功をサポートするためです。

SOLIDWORKSの研究開発部門は、ユーザーのニーズに沿って成長し、進化してきました。ユーザーが愛用し、信頼してきた、業界をリードする、これまでと同じCADを提供しつつ、最新の製品開発ニーズよりも常に一步先を行けるように取り組んでいます。SOLIDWORKSの研究開発部門は、現在だけでなく将来にわたってイノベーションを推進していくために必要な最新のコラボレーションツールを提供しつつ、引き続きこれまでと同じ革新的なモデリング体験を提供していきます。

詳細を確認したい、または実際のデモンストレーションを体験したいという方は、
最寄りの販売代理店までお問い合わせください。